

環境情報検証報告書

株式会社丸井グループ 様

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。))は、株式会社丸井グループが作成した「株式会社丸井グループ 2021 年度 温室効果ガス排出量算定報告書(スコープ 1, 2, 3)」「株式会社丸井グループ 2021 年度 水関連データ算定報告書」「株式会社丸井グループ 2021 年度 廃棄物関連データ算定報告書」「株式会社丸井グループ 2021 年度 燃料及び HFCs 使用量算定報告書」「株式会社丸井グループ 2021 年度 電力及び熱の使用量算定報告書」(以下、「算定報告書」という。))が、同社により作成された「(株)丸井グループ温室効果ガス排出量算定基準(ver.6)」、「(株)丸井グループ水関連データ算定基準(ver.3)」及び「(株)丸井グループ廃棄物関連データ算定基準(ver.2)」(以下、「算定ルール」という。))に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。2021 年度とは、2021 年 4 月 1 日~2022 年 3 月 31 日までの期間をいう。検証の目的は、「算定報告書」を客観的に評価し、同社の温室効果ガス排出量、水及び廃棄物関連データ、燃料及びハイドロフルオロカーボン(以下、HFCs という)使用量、電力及び熱の使用量の算定の信頼性をより高めることにある。

2. 実施した検証の概要

当機構は、温室効果ガス排出量、燃料及び HFCs 使用量、電力及び熱の使用量については「ISO14064-3」、水及び廃棄物関連データについては「ISAE3000」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は、温室効果ガス排出量はスコープ 1(燃料及び HFCs の使用による直接排出)、スコープ 2(電力及び熱の使用による間接排出)及びスコープ 3(15 カテゴリ)とし、スコープ 1, 2 における対象ガスはエネルギー起源 CO₂ 及び HFCs(対象製品: R-22, R-32, R-404A, R-407C, R-410A, R-134a, R-123)とした。水関連データとしては、水資源使用量、排水量、地方自治体の水道からの総供給量、表流水、地下水、取水された原水と同等またはそれ以上の品質で取水源に戻された水、総淡水使用量とし、廃棄物関連データとしては、廃棄物排出量、廃棄物回収量(食品廃棄物を含む)、最終処分量(食品廃棄物を含む)、リサイクル率とし、燃料及び HFCs 使用量、電力及び熱の使用量については、スコープ 1, 2 算定対象の項目とした。保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象の各総量の 5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は、株式会社丸井グループにおいて事業活動を行う国内拠点のうち、スコープ 1, 2 は 69 サイト、水関連データは 43 サイト、廃棄物関連データは 40 サイトとした。

現地検証に先立って、「算定ルール」の確認のために本社における検証を実施した。スコープ 3 以外の検証においては、サンプリングにより 3 サイトを現地検証の対象とし、各拠点における算定対象範囲、エネルギー起源 CO₂、HFCs、水関連データに係るモニタリングポイント、廃棄物発生状況、算定・集計体制の確認を実施した。また、算出データについては担当者へのヒアリング、記録の確認、根拠資料との突き合わせを行った。なお、現地検証の対象拠点の選定は、株式会社丸井グループによって行われた。スコープ 3 に関する検証では、算定シナリオとアロケーション、算定集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

3. 検証の結論

検証の対象とした「算定報告書」の 2021 年度の温室効果ガス排出量、水及び廃棄物関連データ、燃料及び HFCs 使用量、電力及び熱の使用量において、「算定ルール」に準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

温室効果ガス排出量 (単位: t-CO ₂)	GHG Scope1	GHG Scope2	GHG Scope3	計			
	10,540	29,983	258,224	298,747			
水関連データ (単位: m ³)	水資源使用量	排水量	地方自治体の水道からの総供給量	表流水	地下水	取水された原水と同等またはそれ以上の品質で取水源に戻された水	総淡水使用量
	1,059,036	1,018,869	1,050,448	0	8,588	0	1,059,036
廃棄物関連データ	廃棄物排出量 (単位: t)	廃棄物回収量 (単位: t)	最終処分量 (単位: t)	リサイクル率 (単位: %)			
	10,102	7081 内、食品廃棄物 (単位: t) 1,479	3,021 内、食品廃棄物 (単位: t) 310	70			
燃料及びHFCs使用量	ガス(単位: Nm ³)	A重油(単位: kℓ)	軽油(単位: kℓ)	ガソリン(単位: kℓ)	HFCs(単位: t-CO ₂)		
	3,909,803	12	266	13	1,014		
電力及び熱の使用量	電力(単位: kWh)	電力使用量に占める再エネ比率(単位: %)	温水(単位: GJ)	冷水(単位: GJ)	蒸気(単位: GJ)		
	158,684,502	60.9	39,448	30,195	0		

4. 留意事項

「算定報告書」の作成責任は株式会社丸井グループにあり、温室効果ガス排出量、水及び廃棄物関連データ、燃料及び HFCs 使用量、電力及び熱の使用量の検証の責任は当機構にある。株式会社丸井グループと当機構の間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地

一般財団法人日本品質保証機構

理事 浅田 純 男

